

令和2年度 自己点検・評価報告書

関東リハビリテーション専門学校

「令和2年度 自己点検・自己評価について」

本校では、教育水準の向上と活性化を図り医療教育専門学校としての教育目標及び社会的使命を達成するため、自己点検・評価委員会を設け、本校の教育研究活動等の状況について『専修学校における学校評価ガイドライン』に基づき自己点検・評価を適切に実施し、その結果を報告書として取りまとめました。

また、前年度の自己点検・自己評価報告の要改善事項、並びに、学校関係者評価で頂きました貴重なご意見を基に改善を図ったものは、既に本自己点検・自己評価報告に反映を図っています。

今後は、この自己点検・評価の結果を参考に、また、本結果報告に基づき学校関係者評価を行い学校関係者評価委員会にて提起されます改善意見を参考にして更なる教育水準の向上に努め、医療教育に携わる専門学校として改善に努めてまいります。

令和 3年 6月

関東リハビリテーション専門学校

副校長・自己点検評価委員長

内 山 孝 夫

基準1 教育理念・目標・育成人材(ディプロマポリシー)等

点検小項目		点検・評価の進捗度	現状認識・評価等	評価等の理由(根拠)	課題と対策	備考
1-1	学校の教育理念・目標・育成人材(ディプロマポリシー)は定められているか	◎	明確に定められている	教育理念・目標及び育成人材像は学則・パンフレットに明記	特になし	
1-2	学校の職業教育の特性は何か明確か	◎	各学科とも医療系国家資格養成校であり、卒業時の国家資格受験資格を取得する。	各課程は養成施設指定規則の基準を満たしている	根拠規則の改正(2020.4適用)に伴い教育内容を見直した。常に規則に適合する状態を維持する。	
1-3	社会のニーズを学校教育の目標及び将来構想等に反映したものとなっているか	◎	高齢化社会のニーズに合わせて医療現場に求められる人材を養成する。	①障がい者スポーツ指導員認定校 ②福祉・介護関連資格取得のサポート等	現在の取組みが陳腐化またニーズに取り残されない様に常に社会ニーズに留意し、必要な刷新を図っていく	R3年度から日本スポーツリハビリテーション学会認定トレーナーの認定校
1-4	学校の教育理念・目標・育成人材(ディプロマポリシー)は学生・保護者等に周知されているか	◎	各学生には新入時のオリエンテーションで明示している。パンフレットに明示し保護者を含めて配布している。	教育理念を1階ロビーに掲示、また学校パンフレットにディプロマポリシー等を明示	特になし	

点検・評価の進捗度 【適切…◎、 ほぼ適切…○、 やや不適切…△、 不適切 …×】

基準2 学校運営

点検小項目		点検・評価の進捗度	現状認識・評価等	評価等の理由(根拠)	課題と対策	備考
2-1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	◎	明確に定められている	年度事業計画	特になし	
2-2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	◎	予算案を含めて各年度で策定され、5月、6月に明示される	各年度の事業計画及び予算執行計画	特になし	
2-3	運営組織や意思決定機能は規則等に明確化され、有効に組織運営されているか	◎	決裁に関する学園規定も整備され、校内においては機能組織図の職責に基づく規定により業務を進めている。	都築学園規定 関東リハビリテーション専門学校事務組織規程	特になし	
2-4	人事・給与に関する規則等は整備されているか	◎	学園規定により明確に規定されている。	都築学園規定(人事・給与)	特になし	
2-5	教育及び予算執行等について意思決定に関するシステムは整備されているか	◎	学園規定により明確に規定されている。	都築学園規定(事務稟議)	特になし	
2-6	情報システムを導入し、業務の効率化及び情報公開は図られているか	◎	予算管理及び学生管理等一部は校務システムが導入され情報共有が図られている。情報公開についてもHP上に掲示している。	校務システム 関東リハビリテーション専門学校HP	令和元年からHP上に公開中	

点検・評価の進捗度 【適切…◎、 ほぼ適切…○、 やや不適切…△、 不適切 …×】

基準3 教育活動

点検小項目		点検・評価の進捗度	現状認識・評価等	評価等の理由(根拠)	課題と対策	備考
3-1	教育理念に沿った課程編成、育成人材像を踏まえた教育到達レベルや学習時間の確保は明確にできているか	◎	PT/OT養成所の教育課程に位置付けられ教育が実施されている	PT/OT養成施設の指定基準を満たし認定を受けている	特になし	
3-2	各学科のカリキュラムは体系的に編成されているか	◎	国家試験受験資格を得られるための課程としてPT/OT養成施設の指定基準を満たしている	同上	特になし	
3-3	キャリア教育・職業実践教育の視点に立った教育方法の工夫・開発が行われているか	◎	厚生労働省の基準を満たすカリキュラムに現場力を生かす独自性を加味している	日本障がい者スポーツ指導員養成施設認定校	特になし	
3-4	授業評価の実施・評価体制はあるか	○	学生への授業アンケートを全教科行い、評価とともに要望の吸い上げなどに活用している	授業アンケート	アンケートのみで、教育技法等に関する評価として具現化したものはなく今後の課題とする	
3-5	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	◎	A/B/C/Dの成績評価及び単位認定の基準は明確である	関東リハビリテーション専門学校学則	特になし	
3-6	資格取得等に関する指導体制はあるか、また、カリキュラム内での体系的な位置付けとなっているか	◎	国家資格取得に向けて知識が段階的に蓄積される様に1年時から国試対策模試を取り入れ、3年時には総復習を行うなどのサポートを行っている	模試実績(1年、2年、3年) 国家試験対策講義	特になし	

点検小項目		点検・評価の進捗度	現状認識・評価等	評価等の理由(根拠)	課題と対策	備考
3-7	教員が先端的な知識・技能等を修得するための研修、また、指導力育成・資質向上のための取組みが行われているか	○	知識・技能維持のための病院研修等を各教員は週一回行っている。また、各学科とも各種学会、教員研修会などにも可能な範囲で参加している。	出勤簿 学会研修参加については、出張記録簿	学会等の研修については、業務の都合、また、予算上で参加できない場合も多々あった。今後は、研修の開催目的の軽重に応じて取捨選択を行う	R2年度オンライン講習に参加
3-8	優れた教員を確保するためのマネジメントや職員の能力開発のための研修等が行われているか	○	資格が求められるポストは空位を容易に確保するのは難しく、視野を長期にした対応が求められる。特に現職員の異動希望と業界関係者の情勢変化の把握を大事にしている。令和元年度末に欠員となった夜間部教員が1名の充足が間に合っていない。	職員充足率	現在、欠員中であるが、専任教員候補者を選定し、採用に向けて活動中である。	

点検・評価の進捗度 【適切…◎、 ほぼ適切…○、 やや不適切…△、 不適切 …×】

基準4 学修成果

点検小項目		点検・評価の進捗度	現状認識・評価等	評価等の理由(根拠)	課題と対策	備考
4-1	就職率の向上が図られているか	◎	就職希望者の就職内定率は、開校以来100%である。	本校学校案内	特になし	
4-2	資格取得(国家試験合格)率の向上が図られているか	○	令和2年度はコロナ禍の影響もあり、理学療法学科は対面指導ができず、全国平均を下回った。一方、作業療法学科は昨年度から取り入れた個人学習ツールが効果を発揮し全国平均を上回る実績を残した。	厚生労働省告示 国家試験 学校別合格状況 (PT R2 20/20 100% ➡ R3 19/27 70.4%) (OT R2 7/8 87.5% ➡ R3 3年制 11/11 100% 4年制 4/7 57.1%)	コロナ禍における指導法の創意工夫と安定した成果に繋がる国家試験対策並びに合格率維持が求められる。	(部外) 模試の有効活用 令和元年度から部外ツール(リハビリ; 過去問題のスマホアプリ)の活用を開始し理解を深めた
4-3	退学率の低減が図られているか	○	令和2年度の退学者は、前年度に比し増加、特に昼間部1年生に14名と多く発生した。	前々年度及び前年度実績	特にコロナ禍にあつて、オンライン授業が多くなり、本校の長所である学生に寄り添う教育が困難であった。コロナ禍は今後も予測され、そのような状況にあつても工夫を凝らし学生の変化や心情を把握し、担任任せにしない学校としてのフォローに取り組む	
4-4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	○	業界団体研修や同窓会により卒業後のキャリア形成に向けたニーズの把握に努めている。	研修後の懇親会、同窓会や懇親会、また、本校の学校祭へのOB参加者から情報収集	現在、常設した形のものはないため、本年度のHP改変時に情報システムの活用を検討中	

点検・評価の進捗度 【適切…◎、ほぼ適切…○、やや不適切…△、不適切 …×】

基準5 学生支援

点検小項目		点検・評価の進捗度	現状認識・評価等	評価等の理由(根拠)	課題と対策	備考
5-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	◎	就職課・学生課、担任及び各学科による支援体制は整備され有効に機能している。 病院施設による説明会も開催	関東リハビリテーション専門学校組織機能図	特になし	
5-2	学生相談に関する体制は整備されているか	○	学級担任を中心に対応しているが、別に学生課にも相談窓口を設け複数窓口体制としている。	学級担任制度 学生相談窓口を掲示	前年度の退学者発生状況から相談体制について心の窓口的なものの新設を含めて要検討と学校関係者評価委員会から提言を受けた。現在新たな窓口について検討中	
5-3	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	○	日本学生支援機構／東京都育英会の奨学金、本校の提携ローン 国の修学支援制度の認定校に指定を受けた	学生募集要項 認定指定校名簿	毎年、数名は経済的な理由の退学者が生じている。 他の学生支援の道も追及する	修学支援制度の認定校に継続指定 今後、対象者の手続きを推進する。
5-4	学生の健康管理を担当する組織はあるか	◎	学生課を中心とした支援体制を整備し、かつ、年一度の健康診断を実施している。	行事計画／健診記録等	特になし	
5-5	学生の生活環境・課外活動等を支援する体制は整備されているか	◎	学級担任を中心に対応している。	校外活動届等	特になし	
5-6	保護者とは適切に連絡・連携が図られているか	◎	内容により必要の都度、各学科／教務課／会計課が対応している。	家庭通信記録	特になし	
5-7	卒業生への支援態勢はあるか	○	学校祭日を軸に同窓会を開催 本校HP上に卒業生への発信欄はあるが、必要書類の手続きに限定されている	関東リハビリテーション専門学校HP卒業生の方へ	HPの卒業生ページの機能拡大を検討中 本年度のHP改変時の項目追加掲載を検討中	

点検・評価の進捗度 【適切…◎、 ほぼ適切…○、 やや不適切…△、 不適切 …×】

基準6 教育環境

点検小項目		点検・評価の進捗度	現状認識・評価等	評価等の理由(根拠)	課題と対策	備考
6-1	施設・教材は、教育上の必要性に対応できる様に整備されているか	◎	教育に支障の無いように更新・修理等行っている。	軽易な故障についてはその都度、早期に修理し、更新が必要な教材については年度計画で実施している。	特になし	
6-2	実習施設等の教育体制は整備され、十分な連携は図られているか	◎	学生数の実習先を確保している。	バイザー会議や日々の連絡・訪問等で実習先との連携は十分にとっている。	特になし	
6-3	防災体制は整備されているか	◎	整備し、入学時の新入生オリエンテーションにて周知している。	定期的な防災点検、災害時の備蓄も学生分備蓄している。	特になし	

基準7 学生の募集と受入

点検小項目		点検・評価の進捗度	現状認識・評価等	評価等の理由(根拠)	課題と対策	備考
7-1	学生募集活動は、適正に行われているか	◎	各入試の出願時期を厳守して行っている。	AO出願9月、社会人出願9月、高校推薦出願10月、一般出願11月	特になし	
7-2	学生募集において適正な評価基準を設け選考を行っているか	◎	各選考項目を点数化し合否基準を設けて選考している。	評価平均5点満点中、3点以上を合格としている。	特になし	
7-3	学生募集成果	○	年度当初の募集目標との対比 昼間部； 38/40 夜間部； 24/30 ともに年度目標には満たなかったが8割以上達成の成果を得た。	R3年度新入生募集記録	8割と僅かに目標に届かなかった事の要因を考察し、募集広報に更なる工夫を加え、年度目標を達成できるよう努力する。	

点検・評価の進捗度 【適切…◎、 ほぼ適切…○、 やや不適切…△、 不適切 …×】

基準8 財務

点検小項目		点検・評価の進捗度	現状認識・評価等	評価等の理由(根拠)	課題と対策	備考
8-1	中・長期的に学校の財務基盤は安定しているか	○	安定している。	学園グループとして、毎年経営改善を図っている。	本校のみの収益でも安定した収支となり、各種の事業を具現化し易い環境となる様に努力する。	学校独自;夜間のOT学科の充足が低く学生募集努力を継続する。
8-2	予算執行及び収支計画は妥当なものとなっているか	◎	年度末に翌年度の予算計画を行い、本部の決裁を受けている。	本部決裁後に実施している。	特になし	
8-3	財務について監査が適正に行われ公開されているか	◎	外部の公認会計士による会計監査を実施している。	2年に1度、会計監査を行っている。	特になし	

基準9 法令等の遵守

点検小項目		点検・評価の進捗度	現状認識・評価等	評価等の理由(根拠)	課題と対策	備考
9-1	関係法令及び養成施設設置基準が遵守され適性に運営されているか	◎	適切に運営している。	関係法令及び養成施設設置基準を厳守していると認識	特になし	
9-2	個人情報保護対策が図られているか	◎	個人情報についてはほぼ適切に保護されている。	個人情報の漏えいに対する危機管理を意思統一している。個人情報保護については学園規定	特になし	
9-3	自己評価・学校評価が行われ、その結果を公開しているか	◎	自己点検・学校関係者ともに実施し、その成果をHPにて公開している。	本校HPの情報公開ページ	特になし	

点検・評価の進捗度 【適切…◎、 ほぼ適切…○、 やや不適切…△、 不適切 …×】

基準10 社会貢献

点検小項目		点検・評価の進捗度	現状認識・評価等	評価等の理由(根拠)	課題と対策	備考
10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	○	地元中学の職業体験を受け入れている。学校祭時にリハビリ体験講座を実施し地域住民に参加してもらっている。	地元中学生や地域住民に施設利用を行っている。	地域に対して地域貢献・社会貢献に関する更なる要望等を把握する。	昨年度は学校祭がコロナ禍で中止となり調査機会を失し、本件は継続扱いとする。
10-2	学生のボランティア活動を奨励し、活動支援を行っているか	◎	東京民医連等が行う夏ゼミや立川市内でのボランティア活動などへの参加を促している。	毎年数名の学生が参加している。	特になし	
10-3	地域に対する公開講座・教育訓練(職業訓練等を含む)の受託等を実施しているか	△	地域の社会福祉協議会と連携した活動は行っているが独自の公開講座・教育訓練は行っていない。	学校祭に合わせて来訪者に行うのみで積極的な公開講座・訓練は実施していない。	まずは地域に対して公開講座等についてのニーズを把握する。	昨年度は学校祭がコロナ禍で中止となり調査機会を失し、本件は継続扱いとする。

点検・評価の進捗度 【適切…◎、 ほぼ適切…○、 やや不適切…△、 不適切 …×】